

Kodama合同会社

ウェブ開発コース（フルタイム）

実施者	Kodama合同会社		
講座名称	ウェブ開発コース（フルタイム）		
認定番号	50308-1143	認定期間	2021/10 ~ 2024/9
実施方法	平日昼間、eラーニング	入学定員	14名
訓練期間	63日間	訓練時間	500時間
開講月	1月、4月、7月、9月		
受講経費	入学料	受講料 790,000円	合計 790,000円
教育訓練給付指定	有り/指定番号 48265-212001-6	指定期間	2021/10 ~ 2024/9

対象分野	クラウド、サービス企画
講座の教育内容	プログラミング基礎やソフトウェアアーキテクチャ、リレーショナルデータベース、SQL&ORM、ウェブインターフェースの開発、最新のJavascript、ES&を使った開発、Rail、Airbnbクローンの設計、そしてチームでの開発・デザイン・コード・デプロイ・プロダクトのピッチ発表
目標とするレベル	<ul style="list-style-type: none">■当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成にも貢献できるレベル■当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、新規ビジネスやサービス等の創出が可能であるほか、後進育成にも貢献できるレベル
具体的な到達目標	開発者やプロダクト・マネージャーとしてIT企業への就職、またはスタートアップ創業者としての起業を目指す。 カリキュラムの最終2週間では、チームでプロダクトを開発し、最終日のデモ・デイでは、およそ100名の聴衆の面前で成果発表を行う。テクニカルスキルのみならず、開発者のように考え、チームで協業し、プロダクトを作り上げる一連のプログラミング・フレームワークを学び実践することにより、成功するスタートアップや大手IT企業内で見られるワークフローに適應。開発者としてのエンジニアリングスキル、UXデザインスキル、直観操作ができるインターフェースを設計できるデザインスキル、グラフィックデザインスキル、協業スキルを兼ね備えた開発者としてのキャリア構築を目標とする。
習得できるスキル	<ul style="list-style-type: none">・オブジェクト指向のプログラミングに関する概念の理解・MVCのようなデザインパターンに従ったソフトウェア構築・SQLを用いたクエリ構築とデータベースのデザイン設計・アトミックデザインフレームワークを用いたUI設計・flexboxやCSSグリッド等、最新のテクニックを使ったCSSライブラリ設計・最新のJavascriptバージョンであるES6の習得（副次的なプログラミング言語として）・テクニカルワークフローへの適應と、ワイヤーフレームとモックアップデザイン、プロトタイプでのUXテスト、gitやGithubを利用したユーザー体験のチームシェア・TDD（テストドリブン開発）の発見と、ユニットテストを通じたアプリケーションのコード探索
講座の理解・習得のために推奨される実務経験	基礎的なプログラミングスキルと、高校レベルの数学の知識。学習プラットフォーム上に組み込まれたアセスメントテスト（試験）にてスキルの保有状況について確認。具体的には下記の質問への回答により保有スキルを見極める。 ・コンピューターリテラシー（3問）/理論（6問） ・プログラミング（4問）/OOP（object-oriented programming）2問 ・数学（7問）
講座の理解・習得のために推奨される知識・技術	実務経験がなくても、プログラミングに関する基礎を把握し、時間を有効利用しつつ正しい方法で学ぶために、生徒は全員、プログラムが公式に始まる前に、弊社独自でカスタマイズ開発したプラットフォーム上で30~40時間の事前準備をする。具体的には、Web101によるウェブの動き方、Terminalの基本コマンド、Gitの基本コマンド、HTML&CSSの基礎、Javascriptの基礎、IT企業におけるITワークフローの基本知識に関する事前学習。
技術・知識の到達度の把握・測定方法	全ての受講者はLeWagon参加者が用いるeラーニングプラットフォームを用いて学習を進める。主に、講義スライド・講義ビデオ・フラッシュカードを用いて、単元毎に課題をこなしていく。全ての進捗は、同プラットフォーム上でリアルタイムで生徒一人一人の進捗度を確認できる。（添付「生徒の学習進捗度」を参照） また、提出式の課題については、プラットフォーム上に完了した課題のURLを添付またはファイルをアップロードすることで、直接講師が添削する。
修了認定の判断基準	教育訓練の前半~チームでのプレゼン準備までは、各単元毎に設定されるエクササイズを進捗を通して、理解度や習熟度を図る。最後の2週間は、6名のチームで一つのプロダクトを完成させ、最終日のデモ・デイには、IT企業の人事担当者、スタートアップ経営者、エンジニア等を含む、100名規模の聴衆の前で、プロダクトを実演しながらチーム全員でプレゼンテーションを行う。現在は、デモ・デイも完全オンラインで視聴配信し、オンラインを通して聴衆にプレゼン、質問に回答し、実技・演習を通じた教育訓練の成果を公に発表する。
修了認定基準に満たない受講者への措置	最後の2週間にチームでのプロダクト開発に遅れをとる生徒が出てしまわないよう、最終プロジェクトに取り掛かるより前の段階で、常にプラットフォーム上で生徒の進捗を管理し、遅れが目立つ生徒に対しては講師が直接サポート。
社会人が受講しやすい工夫	eラーニングを活用し、どの時間帯にでも講義ビデオを視聴、スライド資料を復習、フラッシュカードで記憶を定着、プラットフォーム上で問題を解き、課題を提出できるシステムを構築。また講師と直接のやりとりを行えるようにチャット機能等で随時質問を受け付。
受講者に対するサポート体制	学習中は、Slack及びLeWagonのプラットフォーム上で受講者からの質問を随時受け付け、講師より即時回答。3名の講師のほか、常に10~15名のアシスタントも生徒の学習をサポート。
教育訓練施設所在地	〒153-0063 東京都目黒区目黒二丁目1番3号印刷工場1階
ホームページ	https://www.lewagon.com/ja/tokyo